

1. 集計結果

○回答数

- ・保護者による評価 21人（22人中）
- ・職員による評価 18人（18人中）

○実施期間

- ・2023年1月5日～14日

○評価の数値状況

- *別紙を参照

2. 分析・討議

○保護者による評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「活動場所の面積は適切であるか」の項目に、「高校生までいるので、もう少し広いといいなと思う」という意見もある。指導訓練室は80㎡あるほか、廊下・土間などの共有スペースもかなりあり、放課後デイ事業所としては、十分に広いほうだと考えられる。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」の項目に、「いろいろな工作を一緒に作ってもらっている。体調を見ながら、その日の活動を考えてもらえ、安心して預けられる」という意見もある。子どもの内面の課題の即した活動を創造していけるように、いっそう努めたい。
- ・「子どもは活動を楽しみにしているか」の項目に、「活動をとっても楽しみにしている。学校に行きたくないときも、ゆうやけがあるので頑張れるようだ」という意見もある。こうした感想をもらえるよう、充実した活動を引き続きしていきたい。
- ・「活動に満足しているか」の項目に、「おやつ作りが再開できるといい。いつも子どものやりたいことに寄り添ってもらい、感謝している」という意見もある。現在、コロナの感染防止のため、おやつ調理を休止している。状況を踏まえ、再開を検討したい。
- ・「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつくられているか」の項目に、「迎えの際、担当指導員が活動の様子を教えてくれる」という意見もある。保護者の迎えのときの報告が充実するように引き続き努めたい。また、保護者会において、子どもの活動の様子を報告することも引き続き実施していきたい。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」の項目に、「会報は、楽しみに読んでいる」という意見もある。会報の充実に引き続き努めたい。
- ・「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」の項目に、「わが家はまだ参加していないが、いつか参加してみたい」という意見もある。コロナ禍であっても、感染防止の配慮をしながら、屋外の活動による親子行事を開催している。そうした機会を引き続き設定したい。

○職員による自己評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「ガラス窓や照明器具などの破損によるガラスの飛散が起こらないような対策をとっているか」の項目に、「飛散防止フィルムを貼っている」という意見もある。「子どもの行方不明や、部外者の勝手な侵入が起こらないような対策をとっているか」の項目に、「扉に内鍵を設置し、出入りの際に必ず確認することを徹底している」という意見もある。事故防止のための対策を引き続きとりたい。
- ・「子どもの活動の記録を書いているか」の項目に、「子どもの前向きな点をなるべくすくいあげて記述する」という意見もある。活動記録は、子どもの行動の内側にある、その子の願いや悩みを汲み取って記述することを引き続き大切にしたい。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、傍観するのではなくて、働きかけて変化をつくりだし、理解しようとしているか」の項目に、「追いかけてこやくすぐり遊び、風船遊びなどに誘ったり、仕かけたりする」という意見もある。その子の内面の課題に即した活動をつくり出せるようにいっそう努めたい。
- ・「子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか」の項目に、「学校生活の様子なども含め、さまざまな側面から、心のありようを考察する」という意見もある。事実と事実のあいだにある意味を探れば子どもは見えてくる、という観点を引き続き大切にしたい。
- ・「子どもの発達を、ひたすら前進するのではなくて、新しい矛盾を抱え込むと押さえて、子どもを理解しようとしているか」の項目に、「育ってきたからこそできなくなることがあるという視点は大事にしている」という意見もある。子どもは、育つことによって、新しい矛盾を抱え込むことがある、という視点を引き続き大切にしたい。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」の項目は、「はい」が「11」、「わからない」が「2」、「いいえ」が「5」ある。コロナ禍ではあるが、オンラインの研修会も増えているため、外部の研修会への参加を引き続き働きかけていきたい。
- ・「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会をつくっているか」の項目に、「保護者会で、活動中の写真を映しながら報告している」という意見もある。保護者に、子どもの行動の内側に込められた、その子の願いを汲み取っていく大切さを実感してもらうため、子どもの様子を引き続き丁寧に報告していきたい。
- ・「保護者から、子どものことでの悩みなどの相談があったときは、懇切に応じているか」の項目に、「すぐに解決策は出せなくても、保護者の悩みに共感し、一緒に子育てしていく関係をつくっていくことが大切と思う」という意見もある。保護者の思いを親身に聞き取ることに引き続き留意したい。
- ・「親子行事やきょうだいの会などを行なって、保護者・家族が交流を深める機会をつくっているか」の項目に、「コロナ禍であるが、年2回親子行事を行なっている」という意見もある。感染防止の配慮をしながら、屋外での親子行事などを引き続き実施したい。
- ・「地域住民に活動を理解してもらうための手立てを取っているか」の項目に、「定期的に発行しているお便りを近隣にも届けている」という意見もある。地域住民とは日ご

ろから挨拶を交わしたり、会報を届けたりしている。日常的なつながりをつくることを引き続き大切にしたい。

3. 改善目標

○保護者による評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・子どもの行動の内側に込められた、その子の願いを汲み取り、そうした内面の課題に即した活動をつくり出す大切さを保護者に引き続き伝えていきたい。

○職員による自己評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・子どもの、問題にも見える行動の内側には、その子の本当の願いが、屈折した形で込められている、という視点に立ち、子ども1人ひとりをどう理解するかということを引き続き大切にしていきたい。
- ・内部の研修会は内容が充実するように引き続き努めたい。外部の研修会への参加も引き続き働きかけたい。

4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2023年1月31日より）

○ホームページへの掲載（2023年1月31日より）